

湯前町広報誌[広報ゆのまえ]

yunomae

10

2015.OCT
Vol.412

日本遺産認定記念 球磨郡市広報紙研究協議会合同特集

ストーリー

語り続ける物語



JAPAN HERITAGE

語り続ける物語

ストーリー

この特集は、人吉市・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町の広報担当者が協力して作りしました。

人吉球磨の「相良700年の物語」が、ことし4月、日本遺産に認定されました。地域活性化の大きなチャンスとして期待される今回の認定。先人たちが紡いできた物語を守り、生かしていくのは、今を生きる私たちです。

写真：城泉寺 阿彌陀如来像（湯前町）

認定を地域の力に

日本遺産の認定は、人吉球磨の地域活性化の起爆剤として期待されます。早速これを生かす取り組みが始まりました。

県内第1号の認定

4月24日、人吉球磨10市町村が連名で申請したストーリー「相良700年が生んだ保守と進取の文化」日本でもっとも豊かな隠れ里「人吉球磨」が日本遺産に認定されました。日本遺産とは、地域に点在するさまざまな文化財をつなぎ合わせ、日本の文化や伝統を物語る「ストーリー」を認定するもので、文化庁が本年度から創設した制度です。

保守と進取のストーリー

度は全国から83件の応募があった中、18件を認定。人吉球磨のストーリーは、県内第1号として認定を受けました。

人吉球磨は、鎌倉時代から明治維新までの約700年間にわたり同じ領主が治めた全国でも珍しい地域。相良氏は、独自の食文化や遊びといった民衆の文化を守りながら、社寺の建築様式などに新しい文化を取り入れてきました。このように保守と進取、両方の精神が生み出した文化財や風習は現在も大切に受け継がれています。認定されたストーリーは、41件の有形・無形の文化財で構成。社寺だけでなく、球磨拳や球磨焼酎、温泉、民謡も含まれているのが特徴です。

認定をどう生かす

認定を受け、5月には人吉球磨10市町村と商工会や観光協会などの民間団体で「人吉球磨日本遺産活用協議会」を設立しました。同協議会ではストーリーを国内外に広くPRするため、文化庁からの補助金を活用し、パンフレットやポスター・ホームページの製作、体験ツアーの実施などに取り組んでいきます。

8月29日には、日本遺産審査委員長で筑波大学大学院教授の稲葉信子さんを招き、「日本遺産フォーラム人吉球磨」を開催。その中で稲葉さんは「一点在る41の文化財をどうつないでストーリーとして語っていくのか。そして訪れた人にどう楽しんでもらう演出をしていくか。それを考えていくのは地元の人たちです」とアドバイスしました。地域活性化のために私たちができることは何でしょうか？ そのヒントを探しに、物語のページをめくってみましょう。



日本遺産審査委員長 稲葉 信子さん

ストーリーを構成する文化財

人吉球磨全域

- 球磨焼酎
- 百太郎溝と幸野溝
- 人吉球磨の民謡
- 焼酎墓
- 球磨拳
- 庚申信仰と庚申塔
- 相良三十三観音めぐり
- 球磨神楽
- 白太鼓踊り
- 球磨川
- 井口八幡神社
- 人吉温泉
- 青井阿蘇神社とおくんち祭
- ウンスンカルタ
- 老神社
- 人吉城跡
- 大信寺
- 願成寺と相良家墓地
- 岩屋熊野座神社





球磨神楽



十島菅原神社 (相良村)



青蓮寺阿弥陀堂 (多良木町)



生善院観音堂 (水上村)



勝福寺関連文化財(あさぎり町)



臼太鼓踊り



高寺院 (山江村)



木本神宮 (錦町)



球磨焼酎



東俣阿蘇神社 (五木村)



神瀬住吉神社 (球磨村)



城泉寺阿弥陀堂 (湯前町)



相良三十三観音めぐり



人吉城跡 (人吉市)



青井阿蘇神社とおくんち祭 (人吉市)

文化財写真提供 (4・5分)

濱田 喜幸さん (錦町)

Profile

錦町在住の写真家。写真事務所「スラップスティックフォト」代表として商業写真を手掛ける傍ら、ライフワークとして人吉球磨の文化財を数多く撮影。日本遺産認定を記念し、8月に人吉市で相良三十三観音と球磨神楽をテーマにした写真展も開催した。



INTERVIEW



人吉市歴史遺産課 三村 講介 学芸員

鎌倉時代から明治維新まで約700年続いた領主は、全国で4カ所だけ。領主が代わることがあれば新しい文化は入りますが、それまでの文化が壊される場合もあります。人吉球磨地域には、県内の国・県指定社寺建造物の約8割がありますが、これ

領主と民衆が守り続けた地域の宝

は、相良氏の統治が700年続いたからこそ。その間、領主と民衆が代々守り、伝える努力をしてきたことで、現在もありのままの姿を残しているのです。古いものが地域に普通に残っていること自体がすごいことです。この地域には、神様や仏様を大切にすることが当たり前、「守っていくことが当たり前」という考え方があります。日本遺産認定をきっかけに、この素晴らしい考え方が次世代につながっていくといいですね。

から数多く残る古仏も、昔のままの姿を拝むことができず。球磨川沿いの温泉旅館からは相良氏の居城・人吉城が見え、その石垣には相良氏覇権の情景が。世界ブランドになった球磨焼酎は過去と現在をつなぐ深い味わいを感じさせ、人吉球磨の民謡やウンスンカルタ、球磨拳は、毎年「全国大会」や「世界大会」が開催されます。相良三十三観音めぐりは、春秋の彼岸の「御開帳」を目当てに札所を

巡る人で大にぎわい。地域の人たちの温かい「お接待」もあり、身も心も清められ癒されます。殿様と民衆で創り上げた人吉球磨の歴史は、現代に生きる私たちの日常生活に溶け込んだ、生きた歴史遺産といえます。

昭和を代表する歴史小説家・司馬遼太郎は、著書『街道をゆく』で、この地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記しています。

殿様への忠誠心と自負心が芽生えた民衆は、殿様が見守る中、伸び伸びと豊かな生活を営み、庚申信仰や三十三、

を認められた民衆は「今度来なったお殿様は友好的じゃない！」と喜び、心を開き始めます。さらに、米焼酎の醸造や球磨拳、ウンスンカルタなどの娯楽も大目に見たところ、民衆の心はぐっと殿様に傾きました。

現代に息づく相良文化

相良700年の民衆の意識は、殿様がなくなった現代にも脈々と受け継がれています。球磨神楽やおくんち祭のように民衆が信仰や儀礼を代々守り続けた結果、各地で姿を消したかやぶきの建造物も、この地では当たり前の光景として残っています。相良氏が建てた社寺や入国以前、

観音などの民間信仰も受け継がれていきます。そして殿様は永久に平和な統治が続くよう、最先端の技術・文化を取り込んだかやぶきの社寺を造り、自ら祭や儀式も行いました。民衆は地元でできた見事な建物を誇らしく思い、「お殿様、この管理はおどんたちに任せてください！」と大切に管理。社寺の維持管理が地域に根付いたのです。

相良文化の特徴は、領主と民衆が一体となって形成・継承されたこと。相良の殿様の策は、その後も歴代当主が継承し続けました。

「険しい山々に囲まれた地形と球磨川の恵みが育んだ独自性が強い土地柄と、個性が強い民衆の中に入っていくにはどうしたものか……」。悩んだ殿様の最初の秘策は、入国前からある社寺仏閣や仏像を残すこと。心のよりどころを認めた民衆は「今度来なったお殿様は友好的じゃない！」と喜び、心を開き始めます。さらに、米焼酎の醸造や球磨拳、ウンスンカルタなどの娯楽も大目に見たところ、民衆の心はぐっと殿様に傾きました。

700年の物語

ストーリー

日本遺産に認定された「相良700年の物語」と、ストーリーを構成する文化財の一部を写真で紹介しします。

物語をつなぐ人

地域で大切に受け継がれてきた人吉球磨の物語。私たちのまちには、この物語を守り、語り継ぐ人たちがいます。

楽しみながら伝承を

「昔は会合がひと段落すると球磨拳が始まり、夜が更けていくのが当たり前でした」。そう話すのは、多良木町球磨拳保存会長の那須長典さん。球磨拳は昭和60年に同町の無形文化財に登録。同年に保存会が発足しました。会員は50人ほどで、後継者を育てるために世界大会の開催や地元小・中学生への指導をしています。



多良木町球磨拳保存会
会長 那須長典さん

「相手の心を読み合う駆け引きや、そこで生まれる交流、負けるともらえるご褒美（焼酎）など、球磨拳は楽しみがたっぷり。若者や女性も楽しめます。この楽しさをまずは地域の中で伝えて、広がって

いくといいですね」と那須さんは話します。



球磨拳保存会
久保直貴さん(左)広樹さん

地元の人にこそ知ってほしい

平成25年に国の重要無形民俗文化財に指定された球磨神楽。この神楽を守り、各地の神社に奉納するのが球磨神楽保存会です。週1回開かれる神楽教室には小学生から大人まで約20人が通います。

教室で子どもたちを指導するのは、同保存会の久保直貴さんと広樹さん兄弟（あさざり町）。「進学や就職で都市から離れる子どもも多いですが、地元に戻ってきたときにまた続けてほしいという気持ちで教えています。また、地元でも球磨神楽を知らない人が多いので、今回の認定を

知ってもらえるきっかけにしたいですね」と2人は口をそろえます。

高校生の視点でPR

日本遺産の認定を受けて、球磨商業高校の生徒たちは日本遺産をテーマにした日帰りバスツアーを企画しました。7月19日に行われたツアーでは、事前学習でおもてなしや文化財について学んだ生徒たちが案内役を務め、高校生の視点で日本遺産をPR。

「ツアーを通じて、私たちにとっては当たり前のことが観光客には非日常ということが分かりました。若い私たちがもっと地元のことを知り、発信していきたいです」と代表の山下莉央さん（相良村）。生徒たちは、日本遺産のホームページやフェイスブックページも作り情報発信。これらの取り組みが評価され、11月の全国高等学校生徒商業研究発表大会にも出場します。



球磨商業高校
山下莉央さん

人吉球磨の宝物とは

文化財の宝庫、人吉球磨。この地に数多く残る有形・無形の文化財は、先人たちが人から人へと受け継いできた営みが、形として残ったものといえます。

構成文化財の一つである相良三十三観音めぐりでは、地域の皆さんが料理を振る舞い、「どこから来たなつたですか?」と温かく接待。訪れる人にとっては、地元の人との触れ合いも大きな魅力です。源にあるのは、伝統や文化を大切にしたい心、あつい信仰心、おもてなしの心。昔も今も、人吉球磨最大の宝物は、ここに暮らす「人」といえるのではないのでしょうか。

物語を語り続けるのは私たち

日本遺産認定のチャンスを生かすには、地元に住む私たち一人一人が興味を持つことが大事です。例えば、文化財を自分で見て触れて、その感動を人に話したりインターネットなどで発信したりしてみる。他県からのお客さんに、好みの球磨焼酎を薦めてみる。子どもと一緒に氏神様の祭りに出掛けてみる。そんなことが、地域活性化の第一歩です。

日本遺産の認定は、ゴールではなくスタート。相良700年の物語を次世代に語り継ぎ、新しい物語を作っていくのは、今を生きる私たちです。



写真：相良三十三観音めぐり 十二番札所 合戦峰観音（山江村）

EVENT INFORMATION

日本遺産認定記念

ほとけの里と相良の名宝 —人吉球磨の歴史と美—

期 日 10月14日（水）～11月29日（日）
場 所 熊本県立美術館本館（熊本市中央区二の丸2番）
開館時間 午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）
休 館 日 毎週月曜日
※11/23(月)は開館し、翌24日(火)が休館。11/16(月)は「障がいのある方々の鑑賞デー」として開館。
観 覧 料 一般1,000円、大学生700円、高校生以下無料

ほかにも県立美術館では、人吉球磨の歴史を取り上げたイベントを多数開催予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ 熊本県立美術館本館 ☎096-352-2111

ホームページ <http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



湯前町青年団

第51回球磨郡青年団協議会文化祭および第57回熊本県総合青年祭文化の部が9月5,6日にあさぎり町須恵文化ホールで開かれ、郡内7つの青年団が出演。湯前町青年団(瀧森道太^{たきもりみちた}団長=25人)が郷土芸能と日本舞踊の部で1位となり、全国大会への切符をつかみました。

大歓声湧き起る

同文化祭は青年団員の交流を深め、地域の文化を受けつぐために毎年開催されています。少しでも良い発表をしようと各団員は仕事後や、休日の時間を使って、練習に汗を流しました。当日、会場には地元住民も多く駆け付け、ほぼ満席。湯前町青年団は郷土芸能、舞踊、ダンス、合唱、意見発表、のど自慢、アトラクションのステージ発表や、書道、衣食住生活、写真、美術工芸などの展示品の出品で多くの部門に出演しました。

郷土芸能では町の無形文化財「東方白太鼓踊り」、舞踊では男子が「祝い船」、女子が「東尋坊^{とんぼんぼう}」を披露。太鼓踊りは

審査員から「動きに統一感があり、少しも乱れない。」「これぞ太鼓踊り」というものを見せてもらった。どこで踊っても恥ずかしくない」と評価され、発表が終わると会場からは大きな拍手がわき起こりました。

若者の頑張り住民の協力

団員は6月半ばから2カ月半、ステージ発表の練習をしました。農村環境改善センターで練習したあとも馬場区にある青年団室に移動して練習を続けました。

太鼓踊りは同保存会、舞踊は町で舞踊を教えている那須フミさん(上村)ら、合唱は兼田美穂さん(上里2)や苗床由美さん(野中田2)など住民



一糸乱れぬ動きで湯前の伝統を観客に披露した団員ら

第51回球青協文化祭・第57回熊本県総合青年祭文化の部、郷土芸能、日本舞踊で1位

東方 太鼓踊りで全国へ

も青年団に協力しました。今回、文化部長として、まじめ役を務めた工藤正明さん。「受賞できたのは地域の皆さんのおかげです。太鼓踊りは昨年よりも踊り子の人数を増やした。全国大会まで、練習を重ねてレベルアップしたいと思います。資金作りも行いますので、皆さんの応援とご協力をお願いします」と話しました。

レベルアップして全国に挑みたい



文化部長 工藤 正明さん (21 = 中里1)

湯前町青年団は日本青年団協議会が11月15日に東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」で開く第64回全国青年大会に太鼓踊りで出場します。湯前の伝統芸能を全国へ。11月の青年団の活躍に注目です。



団員11人による舞い。今まで経験したことのない人や他町村から湯前町青年団に入った団員も踊りを覚えた。

東方太鼓踊りは重い太鼓を身につけて踊る激しい踊り。若者ならではの迫力のある動きや大きな声で会場を圧倒した。

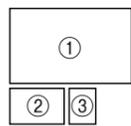
Repo

ホット・ルポ

NO.3 第70回熊本県民体育祭

球磨郡陸上競技でV25

第70回熊本県民体育祭は9月12、13日の2日間、熊本市を中心に24競技で開かれ、球磨郡は総合12位で幕を閉じました。



- ① 2000年に出場した田北忠雄選手(ゼッケン8)
- ② 谷口仁選手の強烈なリターン
- ③ 次々にゲートを通過していくゲートボール女子

陸上競技男子は総合優勝を果たし、25年連続、30回目の優勝を果たしました。

陸上競技では荒木龍二選手(41||野中田3)が出場した49歳以下4×100メートルリレーで、44秒69で大会新記録を樹立しました。東雄峰選手(27||上里1)は29歳以下4×100メートルリレーで3位、走り高跳びに出場した測上駿選手(21||植木)が1メートル70で6位入賞を果たしました。陸上競技だけでなく、各競技で本町の選手が奮闘していました。

■競技結果

(本町関係・入賞者のみ)

○4×100メートルリレー (49歳以下)

①球磨郡 (荒木龍二ほか3人)

※大会新記録

○4×100メートルリレー (29歳以下)

③球磨郡(東雄峰ほか3人)

○走高跳(29歳以下)

⑥測上駿

NO.2 馬場A、V8 ソフトバレーボール

バレーは野中田2

ネット際の激しい攻防(ソフトバレーボール)



第51回 秋季球技大会

高くジャンプしてスパイクを決める選手(バレーボール)

第51回秋季球技大会は9月6日、町内4会場で開かれ、3種目に約400人が参加し、地区の仲間と汗を流して交流を深めました。

B & G 海洋センターで行われたソフトバレーボール競技では馬場が7連覇を達成、バレーボール競技は野中田2区が優勝しました。

湯前小学校、中学校体育館で行われたバレーボールでは、チームワークでボールをつなぎ、各チームのエースが豪快なスパイクを決めていました。

グラウンドゴルフ競技の参加者は雨のためニチレクボールを体験しました。参加者は的になる黄色いボールを狙ってボールを投げ、外しても、近くに止めても笑顔でプレーをしていました。

バレーボール

※15地区・15チーム

- 180人参加
- ①野中田2
- ②上里3
- ③瀬戸口
- 野中田1

ソフトバレーボール

※13地区・14チーム

100人参加

■1部

- ①馬場A
- ②上里3
- ③上村
- 下村

(グラウンドゴルフ)
※雨天のためニチレクボールに変更

ニチレクボール体験会

※14地区・23チーム

120人



的を狙ってボールを投げ合う参加者たち(ニチレクボール)

NO.1 平木さんの肉用種牛が グラントチャンピオン

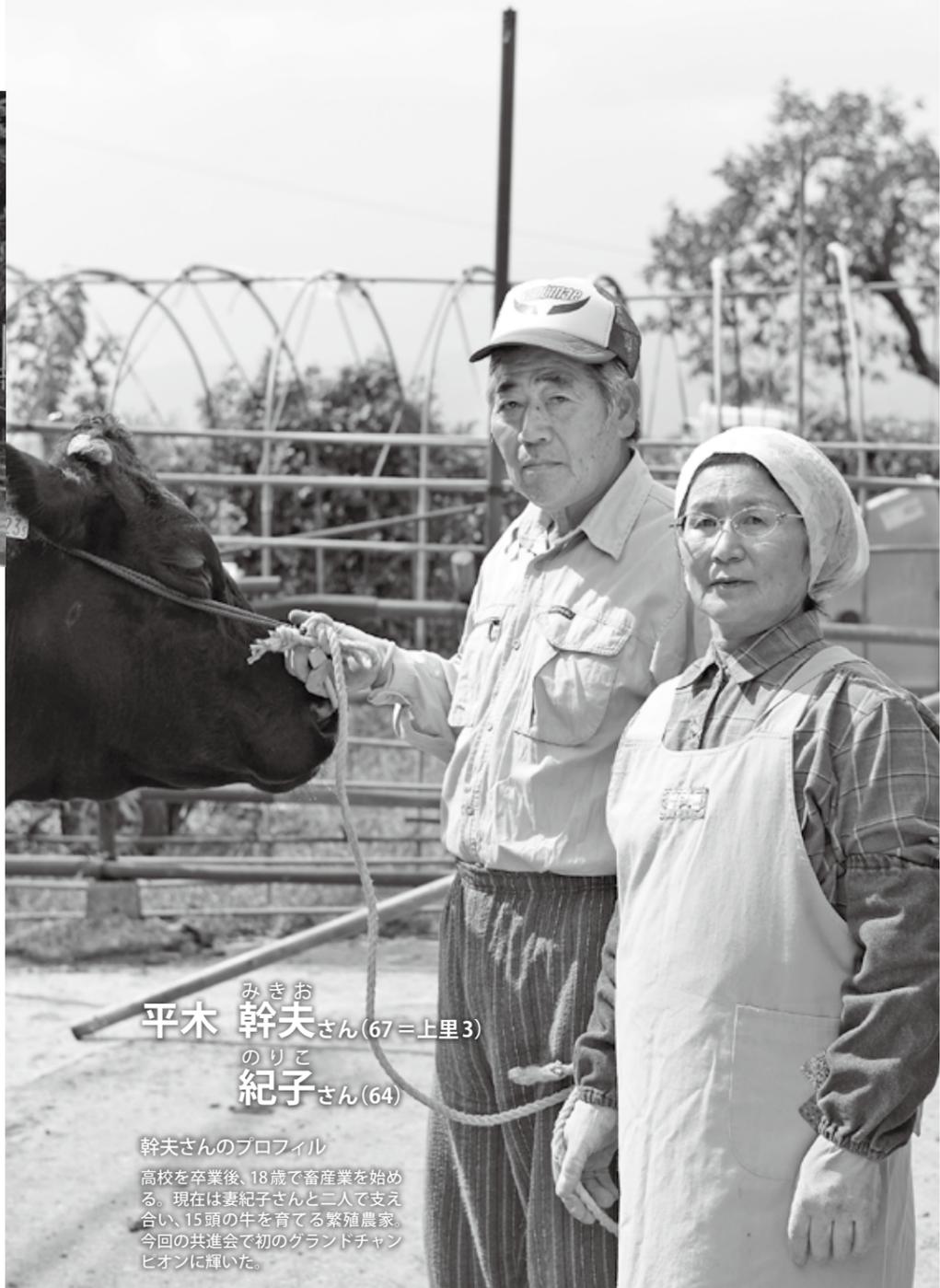
にくようしゅぎゆう

第66回球磨畜産共進会が9月10日に錦町一武の球磨家畜市場で開かれ、平木幹夫さん(67=上里3)の経産牛「まりこ」号が最高位となるグラントチャンピオンに輝きました。

本町に8年ぶりの栄冠

共進会は家畜の改良と自給飼料の増産を目的に球磨畜産農協(栗秋和弘組合長)が主催。ことしは2年に一度開かれる「熊本県畜産共進会」の予選を兼ねて開催されました。肉用種牛の部は、育成種牛の1部に41頭、同2部に36頭、経産牛の部に8頭が出場。飼料作物の部には乾草12点、サイレージ10点が出品されました。

県農業研究センター・畜産研究所長ら専門家12人が月齢に応じた体格や品位を細かく審査しました。肉用種牛の部では各部門で名誉賞が選ばれ、さらにその中から最高位のグラントチャンピオンが選ばれました。本町でグラントチャンピオンが選ばれたのは平成19年以来的のことでした。



みきお 平木 幹夫さん(67=上里3)
のりこ 紀子さん(64)

幹夫さんのプロフィール
高校を卒業後、18歳で畜産業を始める。現在は妻紀子さんと二人で支え合い、15頭の牛を育てる繁殖農家。今回の共進会で初のグラントチャンピオンに輝いた。

←まりこ号の毛並みを整える幹夫さん。1頭1頭の様子を見て、特徴を記録し、それぞれの牛を大事に育てている。

ことし3回目の出産をし、経産牛の部で出場したまりこ号。
↓生後から順調に育ち、グラントチャンピオンに輝いた。



1頭1頭を大切に育てたい 巡ってきたチャンス

「まさか私という気持ちでこの牛を共進会に出してあげた」と話す幹夫さん。平成22年は宮崎県で口蹄疫が発生したため、球磨畜産共進会が開催されず、育成種牛1部や同2部の出場機会がありませんでした。まりこ号はことし3回目の出産をし、経産牛の部(3産以上)で出場のチャンスがやってきました。

幹夫さんは平成22年7月19日に多良木町でまりこ号を購入。生後321日で376キログラムもあつた大きな子牛はすくすくと育ち、現在6歳。「絶対にこの牛を飼おうと思いましたが」。当時、幹夫さんは固い意志で購入を決めました。

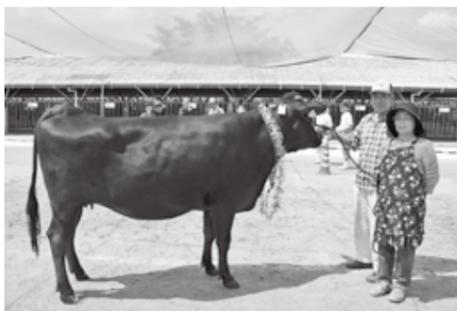
15年間続く日記

平木さん夫婦の朝は早く、朝食を済ませたあと、毎日午前6時からえさの準備や堆肥出しなどの作業がスタート。

やった分だけ 応えてくれる

「最初は近寄ってきませんが、頭やのどを触り、毎日少しずつ接してやると牛も慣れてきて、自分から近づいてくるようになります。私たちが手間をかけた分だけ牛も応えてくれるところにやりがいを感じます。」

幹夫さんは自分の目で見た牛の様子や特徴を約15年間日記に書き続けています。「子牛の育て方が上手な牛もいれば、そうではない牛もいます。発情期がいつくるか、出産の頻度はどれくらいかなど、それぞれの特徴を記録していくことで、私たちも先を見て動くことができます」。繁殖農家は親牛に1年間で1回出産させることを目標にしていますが、幹夫さんの牛舎では、すべての親牛が1年1産を達成しています。



チャンピオン号のまりこ号と平木さん夫婦

「毎日こつこつとやること。体調に気をつけながら、1頭1頭を大事に育てていきたいですね」。幹夫さんは笑顔で話しました。

「毎日こつこつとやること。体調に気をつけながら、1頭1頭を大事に育てていきたいですね」。幹夫さんは笑顔で話しました。



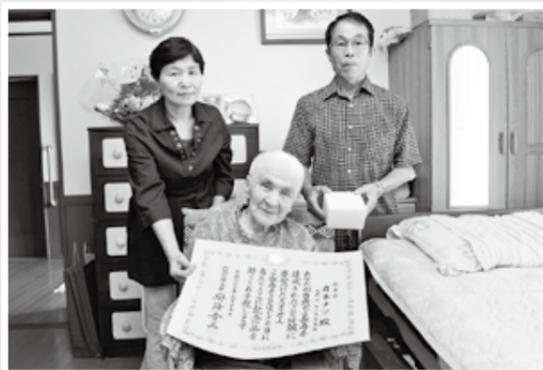
← 妊娠期に近づいてきた牛は運動場で日光を浴びさせる。妻紀子さんも仕事をサポートし、幹夫さんを支えている。

100歳到達者表彰

二人が笑顔で 表彰を受賞

100歳到達者の表彰が9月14日に町内2カ所で行われ、岩本ナツさん(100=古城)と山田コトさん(99=上里2)に内閣総理大臣からの表彰状と鶴田正巳町長からの記念品が贈呈されました。

本年度100歳を迎える人の長寿を祝う表彰で、球磨地域振興局保健福祉環境部上村彰副部長が内閣総理大臣の表彰を二人に伝達しました。自宅で表彰を受けた岩本さんは「ありがとうございます」といねいにお礼を伝えていました。福寿荘で利用者に見守られながら表彰を受けた山田さんは「戦中、戦後を生きて、100年を迎えられたことは感無量。今日は本当にありがとうございます」と話していました。



家族と自宅で表彰を受けた岩本さん



福寿荘でたくさんのお祝いを受けた山田さん



中村事業局長から表彰状を受け取る村井さん夫婦

▽金婚夫婦(結婚50年:50年11組)

長野 勝義・博子 さん	(野中田 2)
村井 信隆 ヒサ さん	(下城)
中村 賢一・隆子 さん	(上里 3)
谷口 徳太・エミ子 さん	(上村)
一柳 房義・和代 さん	(古城)
的場 敏美・久美 さん	(浅鹿野)
西 義治・セイ子 さん	(古城)
浅生 國勝・立子 さん	(中猪)
平川 春喜・ルイ子 さん	(下村)
那須 淑博・メグミ さん	(上村)
谷山 俊六・佳子 さん	(田上)

▽ダイヤモンド婚夫婦(結婚60年:9組)

工藤 駿介・宗子 さん	(下城)
小池 泰典・早苗 さん	(野中田 1)
吉田 八郎・タミ子 さん	(中猪)
永畑 梅則・セツ子 さん	(下城)
那須 勉・タヨ子 さん	(野中田 1)
本田 隆・カズエ さん	(上村)
上村 清吾・ムツメ さん	(田上)
下田 敬喜・静子 さん	(上里 3)
稲葉 昭馬・フミ子 さん	(田上)



金婚表彰を受賞した10組

平成27年度熊日金婚夫婦表彰状伝達式とダイヤモンド婚夫婦表彰式は9月11日、湯前町保健センターで開かれ、金婚夫婦(結婚50年)10組とダイヤモンド婚夫婦(結婚60年)9組が出席。長年支え合い、地域に貢献してきた功績に表彰状や記念品が贈られました。

金婚夫婦表彰を伝達した熊本日新聞社中村俊隆事業局長は「皆さんが歩んできた50年という長い時間は何ものにも代えがたい宝物。これからの人生がより豊かになることを願っています」とあいさつし、感謝状を手渡しました。

19組の夫婦は表彰の前に食生活改善推進員(亀山あやめ会長)が準備した手料理で会食。出席者を代表して谷口徳太さん(79)上村)は「見た目も味も良い料理や表彰など、今日は本当にうれしい。前向きな姿勢で地域や家族のためになるような生き方をしたい」とあいさつしました。



ダイヤモンド婚表彰を受賞した9組

NO.2 地域や家族のために生きていきたい

CLOSE UP 金婚・ダイヤモンド婚夫婦

支え合い、歩んできた二人の道

金婚・ダイヤモンド婚の夫婦は50年・60年という時間、夫婦で支え合い、今回、表彰を受賞しました。これまでの歩みやこれからについて二組の夫婦にインタビューしました。

1日1日を大切に生きる

遠距離を経て結婚

戦時中に熊本市健軍の三菱で飛行機の製造をしていた敬喜さんは地元に戻り、製材所に勤務。そのとき、町の下駄工場に働いていた静子さんと出会います。敬喜さんが静子さんにアプローチし、付き合うことに。静子さんは下駄工場に働いたあと、福岡県の雑貨店で3年間働きました。そのとき、敬喜さんは長崎県へ。遠距離恋愛を経て、二人は昭和30年12月20日に結婚しました。敬喜さんは独立して林業の請負の会社を経営、その後大



ダイヤモンド婚表彰で賞状を二人で手にする下田さん夫婦

阪に本社を置く、建設会社に勤めました。責任者などグループのまとめ役として全国各地で活躍。二人が富山の滑川市に住んでいたころ、娘の加代子さんと3人で立山連峰から黒部ダムまで観光したことが一番の思い出です。

夫婦円満の秘訣

敬喜さんは63歳で会社を退職し、平成6年に現在の家を建てます。現在、静子さんは週2回、近くの公園でグラウンドゴルフを楽しみ、敬喜さんは畑で大根などの野菜を作っています。

「これまで喧嘩をしたことがないという二人。「妻はよくついてきてくれたと思います。最近立場が逆転しつつありますが、これが夫婦円満の秘訣ですね」と笑って話す敬喜さん。

「これからは1日1日を大切に生きていきたいです」と二人は声をそろえて話しました。

二人で支え合い「生涯現役」

「表彰を受けて」こんなに祝ってもらってありがたい。夫婦そろって大きな病気もせず、健康でいられたことが良かったです」とそろって話す春喜さんとルイ子さん。二人は農業を営み、メロンなどを生産。昭和62年に県の農業コンクールで本町初の地域奨励賞を受賞しています。

妻ルイ子さんは酪農家の三女として多良木町黒肥地で生まれ育ちました。春喜さんは黒肥地の酪農家に嫁いだ姉から「良か人がおる」と紹介され、ルイ子さんと知り合いに。春喜さんからのアプローチで付き合い始め、2年後の昭和40年12月17日に結婚しました。

温かい家族に恵まれる

春喜さんの家族は「ぜひ嫁に来てくれ」と頼みにいったほど結婚する前からルイ子さんを気に入っていました。ルイ子さんは「春喜さんの」家族

には本当によくしてもらいました。仕事を手伝ってもらったり、生活をサポートしてもらったり、実家の母と沖縄旅行をさせてもらったり、感謝もしきれないですね。」

5人の孫に恵まれた二人は野球、陸上などスポーツをする男の子が多く、応援に行き、孫の成長を見ることが一番の楽しみだと話します。

生涯現役で頑張りたい

過去には台風の影響でメロンが出荷できない状況もありましたが、苦しい場面も乗り越えてきた二人。春喜さんは「山あり谷ありの人生でしたが、もう50年も過ぎたのかという気持ちもあります。健康に気をつけて生涯現役で頑張りたいですね。ルイ子さんは「地域の皆さんに支えられてここまでできることができました。孫全員が嫁をもらうまで元気で居続けたいと思います。」と話しました。



二人が山口県にいる孫の修太くん^{しゅうた}に会いに行ったときの思い出の1枚



ダイヤモンド婚夫婦
下田 敬喜さん (86 || 上里3)
静子さん (83)

Profile
しもだ けいき。しずこ
昭和30年12月20日結婚。
お互いの尊敬できる場所は？
敬喜さん「芯が強く、よくついてきてくれたところ」
静子さん「頑固だけれど、優しさがあって、よく心配してくれるところ。家のことに積極的に動いてくれるところ」

8月30日(日)

読み聞かせグループ「なすなの会(園田篤子代表)」の平和学習会は8月30日に、中央公民館で開かれ、約50人が参加し、戦時中に作られた「風船爆弾」について描かれた紙芝居やドキュメンタリー映画で平和の大切さを学びました。

なすなの会は戦争の悲惨さや悲しさを体験した人が少なくなってきたことから「身近なところで語り継いでいきたい」と平成21年から平和学習をスタート。今日、若者にも伝えたいと、町青年団にも参加を呼びかけました。

園田代表が「今日は平和をかみしめながら心にとどめてほしい」とあいさつ。紙芝居「おばあちゃんと風船爆弾」では女学生の苦勞、映画「On Paper Wings」では風船爆弾で亡くなったアメリカ人の家族の思いなどが語られました。参加者は「戦争でいろんな人の心に傷が残っている」「互いに分かり合うことが大事」などの感想を残していました。

平和の大切さかみしめて
なすなの会が平和学習会を開催



紙芝居で平和の大切さを学ぶ参加者

9月9日(水)、10日(木)

湯前中学校(高田哲弘校長)の職場体験は9月9、10日に、湯前町と多良木町の12事業所で行われ、2年生26人が仕事のやりがいを学びました。

生徒たちは働くことの苦勞や喜びを学ぼうと、保育園や小売店、消防署、飲食店などに分かれて体験しました。兼田製菓舗では浜崎郁乃(上里3)さんと椎葉愛美(中猪)さんが黒棒や饅頭、パイなどのスイーツ作りや接客を体験。浜崎さんは「たくさん材料を混ぜるときに力が必要。楽しかったけど、とても大変な仕事だと感じた」と話していました。

ファミリーマート湯前店では濱砂幸太郎さん(下染田)と山崎壮一郎さん(上里1)がレジ打ちや揚げ物などを体験。濱砂さんは「親がいつもやっているときは簡単そうに見えるけれど、実際にやってみるととても大変だった。親の偉大さが身にしみたと話していました」。

よろこびや苦勞を学ぶ
湯前中2年生が職場体験



楽しくも仕事の大変さを学んだ生徒たち

9月11日(金)

湯前小学校プール跡地に建てられる学校給食共同調理場の起工式が9月11日に開かれ、関係者約50人が工事の安全を祈願しました。完成は平成28年3月、給食の提供は遅くとも新年度2学期を予定しています。

現在の調理場は昭和58年3月、小学校内に建てられ、1日340食の給食を小中学生に提供。今回の新設は徹底した衛生管理や仕事環境を整えるためのものです。

建物は木造の平屋建て、床面積は447.12平方メートル。床に水を流さず、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことができるドライシステムやアレルギー調理室などを新設します。設計監理は本田建築設計事務所、施工は味岡・力一建設工事共同企業体で、総工費は約2億7000万円。起工式では祝詞(のりと)奏上や玉串奉てんなどを行い、工事の安全を祈願しました。

鶴田正巳町長は「町の子どもたちがこの環境ですくすくと力強く成長してほしい」とあいさつしました。

すくすくと育つ環境を整備
学校給食共同調理場起工式



調理場が建設される小学校プール跡地

9月13日(日)、15日(火)

湯前町敬老会は9月13日に農村環境改善センターで開かれ、75歳以上の町民約350人がアトラクションや食事を楽しみました。

町地域婦人会(橋田實子会長)が主催し、町、町社会福祉協議会が協力しています。ことし75歳以上の町民は957人(うち90歳以上95歳未満130人、95歳以上38人)。参加者全員に記念品が贈られたほか、90歳以上と、95歳以上の参加者にはお祝いの品が渡されました。

参加者を代表して本田権六さん(79)野中田3)が「農業をやっているが、まだまだ若いに負けない気持ちで第一線に立って頑張りたい」とあいさつしました。

参加者は昼食を食べながら、ものまねタレントの「小川純」さんのショーなどを楽しんでいます。

9月15日には特別養護老人ホーム「福寿荘」で敬老会が開かれ、13人の賀寿を祝いました。

957人を祝う
町内で敬老会を開催



たくさんの人が会場に足を運んだ

9月18日(金)

9月18日に、元地域婦人会会長の東キヨ子さん(86)野中田2)と山崎イツカさん(80)上里2)が湯前小を訪れ、元地域婦人会員らが廃品回収で貯めた23万9400円を湯前小・中学校へ寄附しました。

同会は平成4年に熊本市で開催された九州婦人会大会を支援するために、平成3年から新聞紙や段ボール、古本、アルミ缶などの廃品回収を始め、資金を提供しました。大会後も「まちのごみを減らしたい」という思いから平成7年までに18回、廃品を回収。今回は大会に提供した資金の残りとその後の廃品回収で得たお金を寄附しました。

同会の会長を6年間務めた山崎さんは「当時の会員が汗を流して得たお金。全会員の協力があった寄附することができた。ぜひ地域の子どもたちのために使ってほしい」と話し、湯前中の高田哲弘校長は「心温まる寄附をいただいた。子どもたちのために有効に使わせていただきたい」と二人にお礼を伝えました。

地域の子どもたちのために
元地域婦人会員が湯前小中学校に23万円を寄附



寄附を手渡す東さん(右)と山崎さん(左)

9月20日(日)

湯前保育園(東理絵園長)の運動会が9月20日に同園で開かれ、85人の園児たちがかけっこや遊戯、技巧走、親子競技などに汗を流しました。

全員による体操でプログラムがスタート。年齢ごとのかけっこでは転んでも泣かず、最後まで走り続けた園児に大きな声援が送られていました。さくら組(5歳児)親子による騎馬戦ではより多くの帽子を取ろうと、親が子をおんぶして一生懸命走り、白熱した戦いをみせていました。年長児による幼年消防クラブの通常点検では元気な声や大きな動きを保護者らに披露しました。伝統の「親子三代リレー」では、園児から祖父母、父母へとバトンが渡され、真剣勝負が繰り広げられました。

すべてのプログラムを終えた園児たちの顔は頼もしく、園児たちは一日で大きく成長しました。

大きく成長した1日
湯前保育園運動会



元気に運動場を走る園児たち

No.2 新ALTにギャレットさん

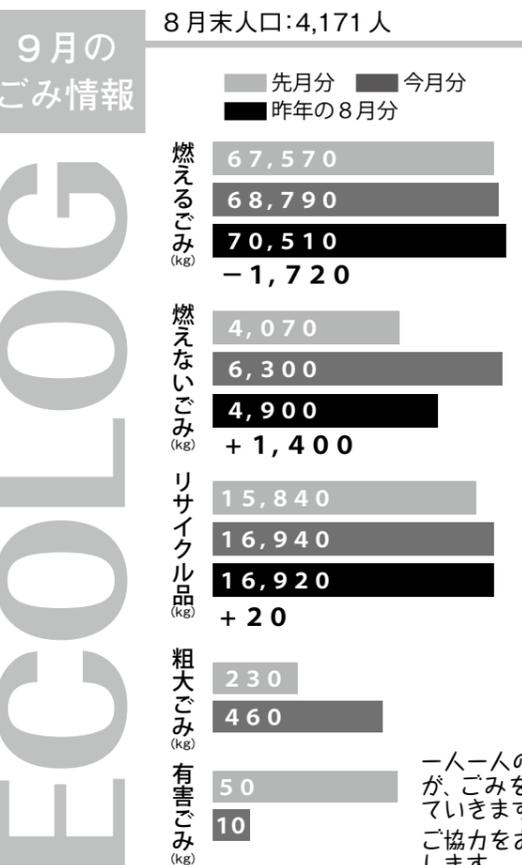
湯前町のALTとして8月3日に新しくギャレット・スタンフォード・オルソンさん(24 =アメリカ・オレゴン州)が着任しました。

Hello! It is truly an honor and a pleasure to be in Yunomae. So far everything has been wonderful. Yunomae is a beautiful area and is full of great people. I first visited Japan three years ago as a foreign exchange student in Chiba prefecture. I learned that I loved Japan, but forgot to learn Japanese! I grew up in Portland Oregon in the USA. It is a very beautiful place with delicious water, like Yunomae! It's a big city, so I am still getting used to the Inaka lifestyle. I graduated from the University of Puget Sound last year in December. I studied economics, Japanese, and English. I like to hike, swim, and play sports. I'm also interested in learning to fish, play the guitar, and visit onsens (Yunomae's is wonderful). Yunomae's teachers and students are all amazing, and I look forward to working with them. I also look forward to meeting Yunomae's citizens! If you see me please say 'hi'! Thank you very much for having me in your town! Cheers!



湯前での生活に心おどらせるギャレットさん

こんにちは! 湯前町に来ることができて本当にうれしいです。私は恵まれています。これまでの生活も素晴らしかった(虫以外は)のですが、湯前は美しく、湯前の人たちはとても優しいです。私は3年前に留学生として初めて日本にきました。千葉県に住んでいて、日本が大好きになりました。しかし、日本語を勉強するのを忘れていました! 出身はアメリカのオレゴン州にあるポートランド市です。ポートランドは湯前よりも大きいまちですが、湯前のようにきれいな場所で、おいしい水があります。まだ湯前の生活に慣れていません。大学で経済と日本語と英語を勉強して、去年の12月に卒業しました。趣味はスポーツとハイキングと川で泳ぐことです。これから魚釣りやギターの演奏をしたり、温泉に行きたいです。湯前の先生と学生と教育委員会の人たちは素晴らしく、一緒に働くことが大好きです。まちの皆さんと会うのを楽しんでいます。私を見かけたら、声をかけてください! よろしくお祈いします。



生ごみの「3キリ」にご協力を!

- 使いキリ: 買すぎない、買ったものは使いキリ。
- 食ベキリ: 残りものの上手な保存やアレンジレシピで残さず食ベキリ。
- 水キリ: 生ごみの約8割は水分です。「もうひとしぼり」水キリ。「1日・1家庭・100%」のごみ減量にご協力を!

● 生ごみを堆肥にしましょう!
家庭での生ごみを減らしてもらうために生ごみ処理機とコンポストの購入を助成しています。ぜひ、ご利用ください! くわしくは、保健福祉課(☎43-4112)にお問い合わせください!

● 不法投棄は犯罪です
家電やタンスなどの家財道具だけでなく、ペットボトルの大量投棄など、不法投棄が増えています。不法投棄は5年以下の懲役か1000万円(法人は3億円)以下の厳しい罰則があります。ペットボトルはリサイクルステーションで年中受け付けています。適正な処理をお願いします。

リサイクルステーションからのお願い!
* リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。
* 汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします!
* 10月の不燃物収集は7日と21日です。(第1・第3水曜日)
* 10月12日(月)祭日は、ハッピーマンデーで通常どおり収集します。

No.1 2015 ゆのまえ 漫画フェスタ開催!

とき: 11月8日(日) ところ: 湯前まんが美術館一帯



米倉千尋 & Gero・SLH アニソンJAM II

今回の漫画フェスタのメインイベントは『機動戦士ガンダム第08MS小隊』や『フェアリーテイル』などの主題歌を担当する実力派シンガーの米倉千尋さん、数々のアニメのタイアップをするGero、キレのあるダンスで話題のグループ「SLH(エスエルエイチ)」によるアニソンジャム。その圧倒的な歌唱力とダンスをたっぷりとお楽しみください。

● 米倉千尋 & Gero・SLH アニソンJAM II 午後14時~

人気漫画家が来場
「仮面ライダーSPIRITS」、「モンキーターン」、「さようなら絶望先生」などを手がけた漫画家の村枝賢一さん、河合克敏さん、久米田康治さんによるトークショーを開催! プロの漫画家の制作秘話や思いをぜひ会場でお聞きください。

お楽しみ抽選券付きスタンプラリー
漫画フェスタ当日、午前9時30分から、町内出店コーナー(町外露天商は除く)のお店で、500円以上お買い物いただいた人に、イベントの最後に行われるお楽しみ抽選会に参加できる「スタンプラリーカード」をお配りします。数に限りがありますので、お早めに!

コミック本受け取りコーナー
当日、湯前まんが図書館でコミック本受け取りコーナーを開設します。お譲りいただいた人には冊数やコミックの状態に応じて、イベントに出演される漫画家や先生、アーティストのサイン色紙や会場内で使える商品券などが当たる抽選会の抽選券を進呈します。

ジェネリック医薬品を知っていますか？

新薬と同じ効果があります

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に作られ、販売される薬です。ジェネリック医薬品には新薬と同じ効果・効果があります。

新しい技術でいろんな病気や症状に対応

高血圧や糖尿病のほか、いろんな病気や症状に対応する薬がそろい、カプセル・錠剤・点眼薬など形態も多彩。新しい技術で、味の飲みやすさや使用感が改良されたものもあります。

安心・信頼でき、経済的です

ジェネリック医薬品は有効性や安全性、品質を国が厳重に審査し、製造販売の承認をしている薬です。
・効き目はもちろん、安全性も新薬(先発医薬品)と同じです。
・薬の価格は新薬の6割ほど。それ以上安いものもあります。

ジェネリック医薬品は家計をサポートします

新薬と同じ成分を使うことで開発費用が抑えられます。医療の質を落とさずに低価格で作ることができ、個人の家計をサポートします。複数の薬の服用や長い期間服用が必要なときは効果的です。



ジェネリック医薬品で医療費の効率化

薬代を軽減することで、日本全体の医療費を効率化することができます。医療費を有効活用して、新しい医療技術や新薬に当てることができるようになります。



ジェネリック医薬品は医療用医薬品です。希望するときは、医師・薬剤師にご相談ください。

参考資料：厚生労働省

日本の優れた医療保険制度を次の世代に

少子高齢化が進む日本では、今後も医療費の増大が予想されます。ジェネリック医薬品の使用は、一人一人の保険料の負担軽減につながるだけでなく、優れた医療保険制度を次の世代に引き継いでいくことにもつながります。

(文責：横矢和美)

編集後記

editorial note



[今月の表紙]

日本遺産の構成文化財の一つである球磨神楽は、青井阿蘇神社(人吉市)の例大祭「おくんち祭」の前夜祭(10月8日)を皮切りに、12月15日まで人吉球磨の43の神社で奉納されます。

▼ことしも人吉球磨の合同特集を作ることができました。10市町村が表紙をそろえ、6ページの特集を作ることは全国でも珍しい取り組みです。相良三十三観音巡りなど、町村の垣根を越えて、みんなでお客さんを受け入れてきた、この地域だからこそできる特集なのではないでしょうか。この特集で写真や文章、レイアウト、他の担当者の方からたくさんのご意見を学ばせていただきました。▼敬老会や100歳到達者の表彰式などたくさんのお祝いがありました。参加された皆さんはともにお元氣そうでした。全国では105歳の男性が100歳を42秒で走ったとか。一方、「腰が痛い、肩が痛い」という25歳の。体のケアを大切にしたい。私も皆さんのように長く健康でいれるように努力したいと思います。▼佐賀県有田町へ行って来ました。初めて見る街並み、出会う人。一眼レフを持ってから、知らない町を歩くことがとても楽しくなりました。

(文責)

個人会員、支部復活OK! 入ってみらんね、婦人会に

婦人会だより No.33

湯前町地域婦人会
会長 橋田 實子

8月20日

7月に行った「子ども自転車教室」で警察署から巾着袋、交通安全母の会から安全啓発のための鉛筆を子どもたちにプレゼントしました。



8月29日

災害ボランティア設置 訓練事業

非常食(ハイゼックス米)の炊き出しをしました。



9月18日

交通安全キャンペーン

秋の交通安全週間に合わせて交通指導員の皆さんとグッズを配り、交通安全を呼びかけました。

9月13日

第65回湯前町敬老会

農村環境改善センターに約350人が集まり、アトラクションやものまねタレントの小川純さんのショーでにぎわいました。



これからの予定

- 10月4日 郡婦連ミニバレーボール大会(多良木町)
- 10月上旬 上球磨交通安全母の会ビーチボールバレー大会
- 10月15日 農芸学院運動会
- 10月25日 県婦連ミニバレーボール大会(氷川町)

戸籍の窓

平成27年8月1日~8月31日届出分

ご結婚おめでとう

- 白川 正央 (上里3)
- 蔵座 千重紀(水上村)
- 久保田 幸宏(錦町)
- 徳永 志織 (馬場)
- 池田 良太郎(山口県)
- 白川 智恵 (上里3)

たんじょう

おめでとう(うぶごえ)

- 林田 珠奈 (保護者名) アンドレアス (下村)
- 那須 響羽 透 (浜川)

ご冥福をお祈りします

- 寺岡 トシ子(中里2)
- 多田 サチ (馬場)
- 浦田 等 (野中田3)
- 岡本 シツエ(上村)
- 上田 ひさ子(下村)
- 竹崎 正民 (野中田1)
- 香典返し
- 浦田 節子 (野中田3)
- 岡本 猪津子(上村)
- 出田 チカ子(馬場)
- 上田 嘉昭 (下村)
- 源嶋 マサモ(瀬戸口)

届けたい、湯前の伝統
ほこり



代々受け継がれてきた青年団舞踊。
息を合わせ、細部まで動きにこだわる。
地域と青年団の力でわき起こった歓声。
努力が報われた瞬間に、こみ上げる喜び。
これからも地域の、人の心に届けたい。
若者たちの挑戦はここから始まる。

生き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ

広報ゆのまえ 10月号

TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL <http://www.town.yunomae.lg.jp/>



※ご意見投稿はこちらから

湯前町青年団長
たきもり みちた
瀧森 道太さん(25=下城)

